

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

第1回ふるさとまつり

昭和56年8月撮影

牛久市所蔵



明治・大正・昭和の「昔のうしく」の写真を募集しています。

昭和56年8月1日・2日に催された「第1回ふるさとまつり」踊りパレードの様子です。当時人口約4万3千人の牛久町は、首都圏のベッドタウンとして都市化が進む中、「子どもたちにはふるさとの思い出を、おとなたちには連携と協調を」の願いを込めて、町民の

だれもが参加して楽しめるように、踊りパレードを中心とした祭りが誕生しました。35年が経過し、市の人口が8万4千人を超えた現在、祭り名も「うしくかつぱ祭り」に改称され、牛久最大の祭りとして毎年7月末に多くの人々にぎわいます。

里山の樹木

問 都市計画課

☎内線2524

葉:城中町の斜面林
平成23年7月10日



第8回

ムクノキ



幹と樹冠下部:奥原町鹿嶋大神宮の斜面の肩
平成24年8月9日

アサ科ムクノキ属。落葉広葉樹の高木。本県中部が自生の北限です。牛久市では、斜面林や社寺林に高さ20m以上の大木が見られますが、鳥が種を運ぶので、あちこちで若い樹も見られ、防風樹にも使われます。樹皮は灰褐色。葉身は写真のように広卵形で長さ6〜9cm、鋸歯があり、

葉の先端は尖っています。葉の裏表には剛毛があつてざらざらしています。よく似ているエノキの葉の表面はすべすべしているので識別可能です。4〜5月、目立たない小さな花を咲かせます。秋に長さ1cmほどの黒紫色の甘い果実が実り、野鳥が好んで食べます。

※牛久の里山樹木ハンドブック26ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。科名は新名称となっています。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章:秋山侃、写真:幹と樹冠下部 戸塚昌宏・葉 渡辺泰)

文芸さろん | 葉月 |

剪定し小森の童話道に沿い
滝見しは鳥歌い涼風通る夏山
夏の午後今日は金曜ダージリン
門を出る鏡にうつる義姉の顔
嬉しい気持ハンドルにぎる
球根を借金さんに貰いたる
黄金色の百合今朝咲き出でぬ
あじさいの花に宿りし水玉の
ひかりまぶしき梅雨ばれの朝
いつか散る日を憂ひつつ
満月の蹣跚の道を独り歩みつ

雅子
岡村さん
塚本さん
枝さん
匿名希望
高橋さん
越智さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしく文芸さろん」係

FAX: 873-2512

E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)